

昭和59年度～



定部 1部 5円 23の23
秋田市中通4丁目3番地01号
発行 秋田県消防協会
印刷所 能代市大町7の5
東北出版株式会社
電話 6222

昭和58年度

消防功労者表彰式

3月14日県正庁で

秋田県、秋田県消防協会では、昭和58年度消防功労者表彰式を3月14日午前11時から県正庁において来賓、受賞者など参加し厳粛に行われた。

秋田県知事表彰

この表彰式は、縣長表彰、年間無火災町村の知事表彰を始め、去る2月10日東京都港区虎ノ門、日本消防会館ニッショーホールにおいて授与された日本消防協会長表彰、同3月9日授与された消防庁長表彰など

- ◎表彰旗
大雄村消防団
- ◎羊頭標(2団)
琴丘町消防団
- ◎無火災町村(4町村)
阿仁町
神岡町
仙南村
大雄村

なほ、無火災町村に対して、県消防協会長から感謝状が贈呈された。



日本消防協会会長表彰

- ◎表彰旗
大滝村消防団
- ◎羊頭標(3団)
比内町消防団
西木村消防団

- ◎功績章(22名)
鹿角市消防団
分団長 小笠原佳明
- 分団長 村上 金一
- 阿仁町消防団
副団長 松橋 久一
- 能代市消防団
分団長 山田 久勝
- 山本町消防団
副団長 笹田 清志
- 飯田川町消防団
副団長 菊地 周一
- 天正町消防団
副団長 柏崎佐吉郎
- 秋田町消防団
分団長 杉山重三郎
- 分団長 三浦 幸一
- 雄勝町消防団
副団長 柏谷 金治
- 大曲町消防団
分団長 小野 憲一
- 東田町消防団
副団長 石渡 力造
- 大内町消防団

式辞を述べる佐々木知事

消防庁長官表彰

- ◎表彰旗
藤里町消防団
- ◎羊頭標(2団)
若美町消防団
- ◎功労章(2名)
仙南村消防団
- 西木村消防団
- 井川町消防団
- ◎永年勤続功労章(97名)
秋田市消防団
分団長 飯島 春雄
- 分団長 手塚 憲実
- 分団長 笠井文之丞
- 分団長 武田辰之助
- 副分団長 菅田富治郎
- 横手市消防団

- 分団長 菊地 義徳
- 分団長 伊藤 吉郎
- 角館町消防団
- 分団長 阿部 慶一
- 南外村消防団
- 副団長 高橋 正一
- 横手平鹿広域消防本部
- 消防監 佐藤 正吉
- 平鹿町消防団
- 副団長 藤原 五郎
- 増田町消防団
- 副団長 杉田藤一郎
- 雄勝町消防団
- 分団長 菅 三郎
- 皆瀬村消防団
- 分団長 高橋 久孝
- 湯沢雄勝広域消防本部
- 消防監 小原 善藏
- ◎勤続章(52名)
鹿角市消防団
副団長 榎塚 誠造
- 分団長 澤川 昭三
- 小坂町消防団
- 分団長 田中 誠一

点検は防火のはじまり しめくくり

- 分団長 菊地 義徳
- 分団長 伊藤 吉郎
- 角館町消防団
- 副団長 阿部 慶一
- 南外村消防団
- 副団長 高橋 正一
- 横手平鹿広域消防本部
- 消防監 佐藤 正吉
- 平鹿町消防団
- 副団長 藤原 五郎
- 増田町消防団
- 副団長 杉田藤一郎
- 雄勝町消防団
- 分団長 菅 三郎
- 皆瀬村消防団
- 分団長 高橋 久孝
- 湯沢雄勝広域消防本部
- 消防監 小原 善藏
- ◎勤続章(52名)
鹿角市消防団
副団長 榎塚 誠造
- 分団長 澤川 昭三
- 小坂町消防団
- 分団長 田中 誠一

- 分団長 菊地 義徳
- 分団長 伊藤 吉郎
- 角館町消防団
- 副団長 阿部 慶一
- 南外村消防団
- 副団長 高橋 正一
- 横手平鹿広域消防本部
- 消防監 佐藤 正吉
- 平鹿町消防団
- 副団長 藤原 五郎
- 増田町消防団
- 副団長 杉田藤一郎
- 雄勝町消防団
- 分団長 菅 三郎
- 皆瀬村消防団
- 分団長 高橋 久孝
- 湯沢雄勝広域消防本部
- 消防監 小原 善藏
- ◎勤続章(52名)
鹿角市消防団
副団長 榎塚 誠造
- 分団長 澤川 昭三
- 小坂町消防団
- 分団長 田中 誠一

- 分団長 菊地 義徳
- 分団長 伊藤 吉郎
- 角館町消防団
- 副団長 阿部 慶一
- 南外村消防団
- 副団長 高橋 正一
- 横手平鹿広域消防本部
- 消防監 佐藤 正吉
- 平鹿町消防団
- 副団長 藤原 五郎
- 増田町消防団
- 副団長 杉田藤一郎
- 雄勝町消防団
- 分団長 菅 三郎
- 皆瀬村消防団
- 分団長 高橋 久孝
- 湯沢雄勝広域消防本部
- 消防監 小原 善藏
- ◎勤続章(52名)
鹿角市消防団
副団長 榎塚 誠造
- 分団長 澤川 昭三
- 小坂町消防団
- 分団長 田中 誠一

- 消防司令 山内 正義
- 男鹿市消防団
- 分団長 安田 昭一
- 秋田消防署
- 消防司令 工藤 次郎
- 秋田市消防団
- 分団長 鈴木 左門
- 河辺町消防団
- 分団長 相原 定次
- 中仙町消防団
- 分団長 中野 三天
- 六郷町消防団
- 副団長 古郡 嘉一
- 大雄村消防団
- 副団長 柴田多三郎
- 湯沢市消防団
- 副分団長 船越勇之助
- 稲川町消防団
- 分団長 高橋信次郎
- 羽後町消防団
- 分団長 伊藤 忠
- 分団長 鈴木 松司
- 分団長 原田 悦郎
- 東成瀬村消防団
- 部長 小田原信一
- 湯沢雄勝広域消防本部
- 消防司令 小沼 常男
- ◎勤続章
鹿角市消防団
- 分団長 成田 威
- 外348名
- 羽後町婦人消防隊

- 部長 佐藤 幸徳
- 鹿角市消防団
- 分団長 斎藤 強
- 副分団長 村本新一郎
- 分団長 柳澤 隆一郎
- 小坂町消防団
- 分団長 進田修一郎
- 鷹巣町消防団
- 副団長 成田 正直
- 分団長 長坂 基徳
- 比内町消防団
- 分団長 渡辺 久登
- 森吉町消防団
- 副団長 巖田 定雄
- 阿仁町消防団
- 副団長 大野 鉄治
- 田代町消防団
- 分団長 高坂 健次
- 合川町消防団
- 分団長 山崎 誠
- 上小阿仁村消防団
- 分団長 港 六郎
- 琴丘町消防団
- 分団長 児玉 晃
- 二ツ井町消防団
- 分団長 工藤 武美
- 八森町消防団
- 分団長 鈴木 興市
- 藤里町消防団
- 分団長 茂木 文信
- 八電町消防団
- 分団長 工藤 正義

- 峰浜村消防団
- 分団長 三浦 末治
- 五城町消防団
- 分団長 越前 儀市
- 分団長 渡部 昭一郎
- 昭和町消防団
- 分団長 鈴木 賢
- 八郎潟町消防団
- 副団長 北嶋 孝太郎
- 分団長 佐藤 市郎
- 飯田川町消防団
- 分団長 原田 武雄
- 天王町消防団
- 分団長 吉田 兼典
- 若美町消防団
- 部長 佐藤 正義
- 井川町消防団
- 分団長 鈴木 謙造
- 河辺町消防団
- 分団長 佐藤 忠行
- 分団長 岡 清秋
- 雄和町消防団
- 分団長 伊藤 時雄
- 仁賀保地区消防団
- 分団長 飯尾 邦彦
- 副分団長 伊藤 国雄
- 岩城町消防団
- 分団長 西澤徳太郎
- 大内町消防団
- 分団長 佐々木 哲
- 神岡町消防団
- 分団長 高橋 忠三
- 西仙北町消防団
- 分団長 久米川 一郎

- 消防司令 佐藤 文雄
- 雄物川町消防団
- 副分団長 児玉 光之助
- 十文字町消防団
- 副分団長 土田 修司
- 大雄村消防団
- 副団長 柴田多三郎
- 湯沢市消防団
- 副分団長 船越勇之助
- 稲川町消防団
- 分団長 高橋信次郎
- 羽後町消防団
- 分団長 伊藤 忠
- 分団長 鈴木 松司
- 分団長 原田 悦郎
- 東成瀬村消防団
- 部長 小田原信一
- 湯沢雄勝広域消防本部
- 消防司令 小沼 常男
- ◎勤続章
鹿角市消防団
- 分団長 成田 威
- 外348名
- 羽後町婦人消防隊

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50) 4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第秋8号)
秋田県消防設備保守協会 会員

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 電話 63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

寺田染工場

手223 電話(2)041-6
横01.822 秋田県横手市清川町

▼申込又は当上場又は秋田県消防協会へ

消防設備、神天、タオル
手拭、巾着、幕

副分団長 中村 孝一
副分団長 小西 久一
分団長 佐々木 亨之助
十文字町消防団
副分団長 佐藤 良吉
角館町消防団
副団長 菅原 秀男
中仙町消防団
分団長 高橋 久男
六郷町消防団
副団長 佐々木 俊一
副分団長 佐々木 孝治
稲川町消防団
副分団長 佐々木 孝治
田代町消防団
分団長 会場 哲郎
雄勝町消防団
副分団長 佐藤 政雄
副分団長 渡部 勝義
副分団長 佐藤 秀一
羽後町消防団
副分団長 有原 忠助
東成瀬村消防団
副分団長 有原 忠助

副団長 田中 正隆
皆瀬村消防団
副団長 後藤 幸之
山本町消防団
分団長 堀井 久太郎
大館周辺広域消防本部
消防司令 近藤 忠
鷹巣阿仁広域消防本部
消防司令 小野 昭治
横手平鹿広域消防本部
消防司令 近藤 金也
男鹿地区消防本部
消防司令 近藤 金也
秋田市消防本部
消防司令 伊藤 連三
湯沢雄勝広域消防本部
消防司令 斎藤 光之
本荘地区消防本部
消防監 斎藤 久助

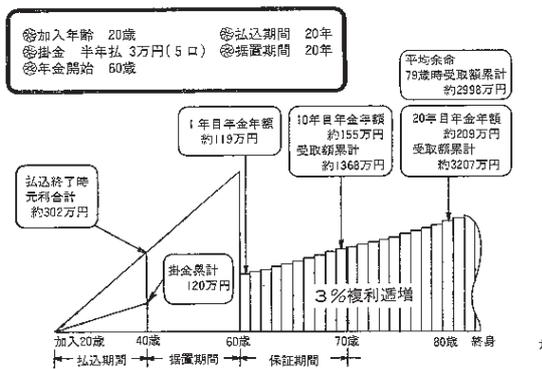
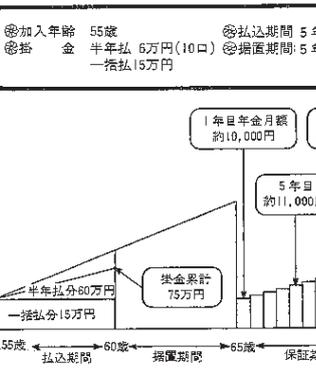
消防互助年金制度が発足

日本消防協会が運営

日本消防協会は、全国消防員から早期退職希望者を含めていた「消防互助年金制度」を創設し、昭和25年度から業務を開始することになった。

本制度の概要は次のとおりである。

- 一、基本的構想
 - (1) この制度は、消防員間の互助の精神を基調とし、各種個人年金に比してより有利な制度をめざす。
 - (2) この制度は、満65歳又は満65歳支給開始の終身年金とする。
 - (3) この制度の給付額は、将来インフレ対策を考慮することとし、5年に1回制度の見直しをする。
- 二、制度の内容
 - (1) 加入資格
 - 財団法人日本消防協会の会員で、満18歳以上満55歳未満の者とする。ただし、制度発足から昭和62年6月31日以前に昭和55歳以上の者(昭和62年6月31日現在加入)を特別として認める。
 - (2) 退団者の取扱
 - 制度加入者は、消防員を退団後も払込みの継続を認める。
 - 加入者の目標
 - 50万人
 - 掛金等
 - (1) 掛金
 - 半年払(7月、1月)
 - の1口当りの掛金は6000円とし、5口以上20口以内とする。
 - 年初年度の年金額10万円(以下「基本年金額」という。)以上となるように口数を調整すること。
 - (2) 払込方法
 - 自動口座振替
 - (3) 新規加入者
 - 加入資格
 - 財団法人日本消防協会
 - 加入年齢
 - 20歳
 - 掛金
 - 半年払 3万円(5口)
 - 年金開始
 - 60歳
 - 払込期間
 - 20年
 - 償還期間
 - 20年
 - 平均寿命
 - 78歳時受取額累計約2992万円
 - 1年目年金額約119万円
 - 10年目年金額約155万円(受取額累計約1368万円)
 - 20年目年金額約209万円(受取額累計約3207万円)
 - (2) 払込方法
 - 自動口座振替
 - (3) 新規加入
 - 加入年齢
 - 20歳
 - 掛金
 - 半年払 3万円(5口)
 - 年金開始
 - 60歳
 - 払込期間
 - 20年
 - 償還期間
 - 20年
 - 平均寿命
 - 78歳時受取額累計約2992万円



毎半年(7月、1月)減口はできない。

(4) 払込期間 20年間

(5) 償還期間 20年間

5、給付

- (1) 年金
 - (a) 10年保証付終身年金
 - 3%複利増進
 - ただし、保証期間内に死亡した場合は、その遺族に遺族一時金を支給する。
 - (b) 支給開始年齢
 - 満60歳又は65歳とする
 - ただし、加入年齢65歳以上の者は、満65歳とす
 - (c) 年初年度の年金額が10万円以上となるよう一括払等を決定する
- (2) 払込方法
 - 自動口座振替
 - (3) 新規加入
 - 加入年齢
 - 20歳
 - 掛金
 - 半年払 3万円(5口)
 - 年金開始
 - 60歳
 - 払込期間
 - 20年
 - 償還期間
 - 20年
 - 平均寿命
 - 78歳時受取額累計約2992万円

東冬彦

ルナティック・ロマン (3)

宇宙飛行士、ワントンのNASA本部に就いたスペース長官は、直ちに、国家航空宇宙局の事務局長アギーラに電話をかけて、アポイントメントをとり、加入資格

月は自転など していない? (4)

主筆 向井晴彦

地球の近くにきたるとき、月の地殻の一部が破れ、内部の密度の高い玄武岩が表面にあふれ出し、海を形成した。ここにきて、海が広がると、密度の高い玄武岩が流れ出した。このとき、月の重心が移動し、重力の中心が移動した。重力の中心が移動すると、月の自転が止まり、公転方向と反対の方向に回転するようになる。このように、月は自転していない。

このようにして月の生成の歴史を現在知られている。月の生成は、現在知られている。月の生成は、現在知られている。月の生成は、現在知られている。

「消防フェア84」高島屋なんば店で開催

日本消防協会では、未来の消防を展望するとともに、消防、防火思想の普及を図るため、次の実施要綱により、「消防フェア84」を8月23日(28日まで)大阪で開催される。

一、目的

このフェアは、家庭、職場を問わず、国民一人一人の関心を高め、国民消防による災害の防止を促すこととすることを目的とする。

二、主催

財団法人日本消防協会

三、後援

自治体消防庁、国土庁、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪府教育委員会

四、日時、会場

日時：昭和26年8月23日(火)～28日(土)

会場：高島屋なんば店

五、フェアの概要

(1) 未来の消防システム(ロボットコナ)

(2) 体験参加コナ(1)～9番のかけ方、消火器の使い方、震度6の体験(ちびっこコナ)

(3) ちびっこコナ(1)～9番のかけ方、消火器の使い方、震度6の体験(ちびっこコナ)

(4) 消防員等の活動紹介(高島屋ホール行事、消防、防災発表会、消防フェアなど)

地球の近くにきたとき、月の地殻の一部が破れ、内部の密度の高い玄武岩が表面にあふれ出し、海を形成した。ここにきて、海が広がると、密度の高い玄武岩が流れ出した。このとき、月の重心が移動し、重力の中心が移動した。重力の中心が移動すると、月の自転が止まり、公転方向と反対の方向に回転するようになる。このように、月は自転していない。

このようにして月の生成の歴史を現在知られている。月の生成は、現在知られている。月の生成は、現在知られている。



第37回全県消防大会

鹿角市

記念スポーツセンターで開催

県消防協会主催の秋田県鹿角市、小坂町後援の第37回全県消防大会が7月25日、鹿角市記念スポーツセンターで盛大に開催された。

来賓として県から丸山副知事をはじめ、日本消防協会長(代表)、鹿角市長、鹿角市消防協会長(代表)、鹿角市消防協会副会長(代表)、鹿角市消防協会事務局長(代表)など多数が臨席され、会場には、県内各市町村の消防幹部など約600名が参加して行われた。

定刻午後1時30分若賀事務局長の司会、参加者全員起立敬礼したのち、辻副会長から夏三伏炎災の下で、秋田県消防人が相集り、その総意を結集して第37回全県消防大会を開催すると開会のことばを述べ、消防防衛、団員の団結に對し、熱こころを述べ、次いで「君が代」斉唱し、そのあと、中田会長が自治体消防制度35周年記念式典での天皇陛下のお言葉を述べられた。

◎中田会長あいさつ
本日(この)第37回全県消防大会は、

防火大会を開催するにあたり、公務も多忙中にもかかわらず、知事ならびに日本消防協会会長代理、県議会議長の諸先生方を始め、平素消防に對し、格別のご指導、ご協力をいただいている多数のご来賓をお迎えし、盛大に開催することを得ましたことは、この上もない光栄であり、深く感謝に堪えません。

また、本大会の準備その他について鹿角市、小坂町ならびに鹿角支部の方々に衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は、自治体消防制度35周年を経たぬことにより、その記念大会が、日本武道館において天皇陛下の御臨幸を仰ぎ盛大に開催されましたが、この間自治体消防は、諸先達ならびに列席の諸方をはじめ、関係各位の努力により幾多の苦難を克服され、今日見られるような近代消防に成長を遂げようとしています。

鹿に堪えさせぬ。

「承知のように、近代都市の過密化、高層化を始め、危険物施設の増加等により、社会環境は著しく変化し、災害の罹りも複雑多様化の現状にあります。

このような情勢の中であつて、消防は、日夜火災の鎮圧はもとより、消防防衛全般に意を用い、その使役環境に努力を重ねておられることに対し心から感謝の意を表する次第であります。

しかしながら、昨年は、日本海中部地震等により、人命、財産に大きな被害を蒙りましたことは誠に遺憾であります。

このような災害の教訓として、各消防に對しては、消防活動の対応など地域防災体制の整備が急がれるのであります。

消防協会としては、これからも諸君と共に伝統ある本県消防の士魂をふまえ、消防防衛の発展のために一層の努力を払い、また、消防防衛の充実に、団員の処遇改善などについてその実現を期して参りないと存じます。

なお、この機会にご報告

いたしますが、消防協会の整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

どうか従来通り、会員の福利厚生施設としてご活用いただきたいと思います。

本日は、これから消防の諸問題についてご協議させていただきますが、本大会を意義あるものとするべく、ご協力をお願い致します。

◎鹿角市副市長
本日(この)第37回全県消防大会を鹿角市で開催いたしましたこと、県知事、副知事、多数のご来賓の御臨席をいただき、併せて報告させていただきます。

消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

どうか従来通り、会員の福利厚生施設としてご活用いただきたいと思います。

本日は、これから消防の諸問題についてご協議させていただきますが、本大会を意義あるものとするべく、ご協力をお願い致します。

◎鹿角市副市長
本日(この)第37回全県消防大会を鹿角市で開催いたしましたこと、県知事、副知事、多数のご来賓の御臨席をいただき、併せて報告させていただきます。

定価 1部 5円
秋田市中通4丁目消防会館
秋田県秋田市小坂町7番地
発行編集人 鹿角市消防協会
印刷所 鹿角市印刷所
電話 62-2622

統一語
全国統一語
あとで
よりの
いまが
大切
火の仕末

十月の広報事項

〇たばこによる火災をなくす
毎年、たばこは出火原因の第一位を占めている。特に投げ捨てた消え忘れた煙草の不注意による火災が多い。そこで、たばこの投げ捨て、寝たままのたばこによる出火の防止を呼びかける。

〇ガスによる火災を防止する
ガスによる火災や爆発事故は依然として多く、その多くはガスの消費者の不注意が原因となつている。このため、ガス

〇たばこによる火災をなくす
毎年、たばこは出火原因の第一位を占めている。特に投げ捨てた消え忘れた煙草の不注意による火災が多い。そこで、たばこ

〇ガスによる火災を防止する
ガスによる火災や爆発事故は依然として多く、その多くはガスの消費者の不注意が原因となつている。このため、ガス

前年度大会における決議事項の処理報告

閣下、前年度大会における決議事項の処理報告を事務局からお願いいたします。

芳賀事務局長
前年度大会において決議された事項は、財政関係4件、法制関係、教育関係各1件となっております。

1. 消防車庫及び消防用ポンプ置場の建設に伴う国庫補助事業の進捗について、大鹿北秋田支部提出の国庫補助金交付申請書の審査が完了し、補助金が交付されています。また、国庫補助金に不足する分は、自治体から繰り入れられています。

2. 消防水車等の補助基準額及び補助額の引き上げについて、横手市平鹿支部提出の申請が、自治体から承認されています。

3. 消防水車等の補助基準額及び補助額の引き上げについて、横手市平鹿支部提出の申請が、自治体から承認されています。

4. 消防車両の10年を経過した車両の更新について、本庄市田中支部提出の申請が、自治体から承認されています。

5. 自主防災組織の育成について、大曲市北七郎支部提出の申請が、自治体から承認されています。

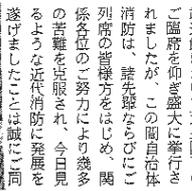
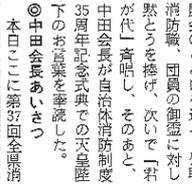
6. 消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

7. 消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

8. 消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

9. 消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

10. 消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。



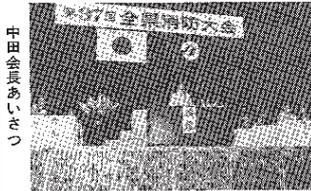
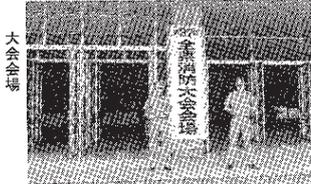
防火大会を開催するにあたり、公務も多忙中にもかかわらず、知事ならびに日本消防協会会長代理、県議会議長の諸先生方を始め、平素消防に對し、格別のご指導、ご協力をいただいている多数のご来賓をお迎えし、盛大に開催することを得ましたことは、この上もない光栄であり、深く感謝に堪えません。

また、本大会の準備その他について鹿角市、小坂町ならびに鹿角支部の方々に衷心より厚くお礼を申し上げます。

しかしながら、昨年は、日本海中部地震等により、人命、財産に大きな被害を蒙りましたことは誠に遺憾であります。

このような災害の教訓として、各消防に對しては、消防活動の対応など地域防災体制の整備が急がれるのであります。

消防協会としては、これからも諸君と共に伝統ある本県消防の士魂をふまえ、消防防衛の発展のために一層の努力を払い、また、消防防衛の充実に、団員の処遇改善などについてその実現を期して参りないと存じます。



防火大会を開催するにあたり、公務も多忙中にもかかわらず、知事ならびに日本消防協会会長代理、県議会議長の諸先生方を始め、平素消防に對し、格別のご指導、ご協力をいただいている多数のご来賓をお迎えし、盛大に開催することを得ましたことは、この上もない光栄であり、深く感謝に堪えません。

また、本大会の準備その他について鹿角市、小坂町ならびに鹿角支部の方々に衷心より厚くお礼を申し上げます。

しかしながら、昨年は、日本海中部地震等により、人命、財産に大きな被害を蒙りましたことは誠に遺憾であります。

このような災害の教訓として、各消防に對しては、消防活動の対応など地域防災体制の整備が急がれるのであります。

消防協会としては、これからも諸君と共に伝統ある本県消防の士魂をふまえ、消防防衛の発展のために一層の努力を払い、また、消防防衛の充実に、団員の処遇改善などについてその実現を期して参りないと存じます。

全国消防人の火災損害補償のために!!

全員契約の B型火災共済

1年掛=2,500円の定額掛金
1単位(2,500円)で2,500,000円を補償

高額保障の C型火災共済

1口100円で10万円を補償
最高2,000万円まで加入できる

C型火災共済の場合、貸家等についても加入することができます

寺田染工場

消防防衛の発展に、整備工事については、県内ならびに市町村からのご協力を仰ぎながらの進捗に進展が、昨日完成いたしました。

どうか従来通り、会員の福利厚生施設としてご活用いただきたいと思います。

本日は、これから消防の諸問題についてご協議させていただきますが、本大会を意義あるものとするべく、ご協力をお願い致します。

◎鹿角市副市長
本日(この)第37回全県消防大会を鹿角市で開催いたしましたこと、県知事、副知事、多数のご来賓の御臨席をいただき、併せて報告させていただきます。

秋の火災予防運動

11月4日から実施

昭和59年秋の火災予防運動が、秋田県、市町村、秋田県消防協会、秋田県少年婦人防火委員会の主催で11月4日(即ち10月15日)まで次の要綱によって県内一斉に繰り広げられる。

一、目的
この運動は、火災が発生しやすき時期にあたり、火災予防思想の普及を図り、火災の発生防止と人命の安全確保を図ることを目的とする。

二、運動の重点
○防犯施設の点検及び整頓の推進
○身体不自由者等を中心とした火災事故の防止
○防火対象物における防火安全の確保

三、推進事項
(1)家庭では
○ストーブなどの暖房器具は安全を確認してから使用しよう。
○風呂の空たきや煙突の破損などに気をつけよう。
○消火器や火災警報器、ガス漏れ警報器などを備えよう。
○身体不自由者、幼児、寝たきり老人などは避難し易い場所をあらかじめ、また寝具、じゅうたん、カーテン等の防火化を進めよう。

(2)職場では
○防火管理者や火元責任者を定め、火の使用の責任を明確にしておきましょう。
○火災警報器、防火映画、講習会等を開催し、火災予防の正しい知識を身につけよう。
○幼年、少年、婦人防火クラブを結成し、火災予防の推進を図ろう。

(3)地域では
○防火協会の防火映画、講習会等を開催し、火災予防の正しい知識を身につけよう。
○幼年、少年、婦人防火クラブを結成し、火災予防の推進を図ろう。

(4)広報活動
○看板、ポスターの掲出
○デパート及び商店街から火災が発生した。○地震によって津代川堤防に亀裂や崩落が所に見られ、防犯施設が破損した。○雷見付付近で発生した林野火災は、9時30分現在外割田方面に延焼中である。

能代市で 県総合防災訓練

本年度の県総合防災訓練が8月30日、昨年の日本海中部地震で大きな被害を出した能代市で行われた。この訓練は、災害対策基本法第48条及び秋田県地域防災計画並びに能代市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民の参加協力のもと、地震、津波及び大規模な火災発生した場合に備え、災害の予防、応急対策等の防災活動が迅速、的確かつ協力的に実施できるように訓練すること、また、防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的として、能代市主催で実施された。

訓練には、県、能代市、消防、電通、自衛隊、日本電力、警察、国鉄などの防災機関、町内会、婦人会など94機関17,000人が参加した。

○訓練災害想定
秋田県内は、晴天が続く。空気が乾燥し乾燥して火災発生のおそれが増えてきた。このため、8月30日8時30分火災警報を発令。
○9時、能代市西方を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、能代市では震度3を記録した。このため市内の各所で住家の全半壊が多数でた。また、通信、電力、水道、ガス、鉄道施設などにかんがって被害が発生した。能代市長は直ちに災害対策本部を設置した。また、9時10分には津波警報がだされた。
○9時10分、中通過の全日程を終了した。

ガスによる 火災などを防ごう

消防庁

都市ガスやプロパンガスは、私たちの生活になくてはならないものです。しかし、取扱いは誤ると火災や爆発をまねくや、消防白書によれば、昭和57年中に、都市ガスによる火災が3,285件、プロパンガスによる火災が4,014件発生し、死傷者は1,795人にも及んでいます。そこで、次のことに注意してガスによる火災などを防ぎましょう。

○ガス器具の周りに、燃えやすいものはありませんか。コンロや湯沸器を柱や壁などに近づけすぎているませんか。特に、これらの器具を燃やしたの下や側方に置く場合は、十分な間隔をとってください。

○ガス器具の構造は、十分な保証を得ておきましょう。また、落すの危険があるふたなどの燃えやすいものは、コンロ等から十分離して置いてください。

○換気は十分すぎるくらいに。ガスが燃えるためには、十分な新鮮な空気を必要とします。空気が不足すると不完全燃焼をおこし、有害な一酸化炭素が発生するので大変危険です。ときどき窓を開けて、室内の空気を入れ換えましょう。

また、ガス風扇がまや大型湯沸器は、給排気筒を正しく取り付けてください。

○ガス器具は、ガスの種類に合っていますか。プロパンガスに付いているシールの表示が合っていることを確認のうえ使用してください。

○ガスの種類によって、空気の混合量が異なりますので、ガス器具の構造も異なります。転居先の場合、その種類の器具を確認して、手持ちの器具と合っているか必ず確かめてから使いましょう。器具が供給ガスに合っていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。不明な場合は必ずガス会社に相談して、正しい器具を使いましょう。

○「1つ1つウツカリ」は危険です。点火後は、必ず火がついたかどうか確かめてください。また、煮こぼれなどによる炎の立ち消えに注意し、電話や茶室の対応に当たるときは、必ず「つたん火を消すように心掛けてください。」

○ガス漏れはありませんか。ガス漏れを防ぐには、必要以上に長いゴムホースは使用しないで、接続部を必ずホースバンドで締めつけてください。使わない元栓には、ゴムキャップをつけてください。

○地域ぐるみの消防訓練の実施
○特定防火対象物の避難訓練の実施
○婦人防火クラブ等防火組織の結成促進
○防火協会、講習会、映画等の開催

消防防災課からの お知らせ

- 自主防災組織育成指導者研修大会の開催について
秋田県では、災害体制における地域住民の防災体制を確立するため、自主防災組織の普及強化を図るとともに、組織のリーダー等に対して、防災に関する知識を修得させ、リーダーとしての業務を培うことを目的として、研修大会を開催する。
- (1)日時 10月24日(日) 午前11時～3時
- (2)場所 秋田市山王七丁目「文化会館」
- (3)研修対象者
①各市町村自主防災組織リーダー
②研修内容
講義 大石照三氏(防災評論家、元千葉市消防局長、現NHK視聴者委員)
③映画 「日本海中部地震の記憶」
- 自主防災組織育成指導者研修大会の開催について
秋田県では、災害体制における地域住民の防災体制を確立するため、自主防災組織の普及強化を図るとともに、組織のリーダー等に対して、防災に関する知識を修得させ、リーダーとしての業務を培うことを目的として、研修大会を開催する。
- (1)日時 10月24日(日) 午前11時～3時
- (2)場所 秋田市山王七丁目「文化会館」
- (3)研修対象者
①各市町村自主防災組織リーダー
②研修内容
講義 大石照三氏(防災評論家、元千葉市消防局長、現NHK視聴者委員)
③映画 「日本海中部地震の記憶」

ルナティック・ロマン (5) 東冬彦

17号の飛行を以て頓挫するところだったアポロ計画を蘇生させたのは、ノーマン・グラントら宇宙開発探検隊の熱意と一人の独創的なアイデアを提供した科学者の執念であった。

一九七一年当初から14号が打ち上げられた同年二月には18号以降のアポロにますます反対の立場をとるようになっていた。ウイスン・コロン州議選出のブロック・マシーン上院議員を中心に続行反対の合唱が轟々とした。NASAの科学者たちが、月面探査によって明らかになる可能性のある、目新しい何かを提示できないでいたためである。それに、これまでの調査結果からして、有用な鉱物資源、たとえば石油とか金銀とか、含有率の高い金属鉱床などが発見される可能性もほとんどなかった。

最初の11号が持ち帰った砂の中に、小さな最大でも直径0.4ミリの美しいガラス玉が多数混じっていたが、ダイヤモンドやルビーのような、宝石の類が発見される見込みもなかった。

月到達を目指して開発事業が膨張していた総期間の一九六五年頃、NASAの宇宙計画予算は年間五十二億ドルだった。NASAの頭には18号以降のアポロにますます反対の立場をとるようになっていた。ウイスン・コロン州議選出のブロック・マシーン上院議員を中心に続行反対の合唱が轟々とした。NASAの科学者たちが、月面探査によって明らかになる可能性のある、目新しい何かを提示できないでいたためである。それに、これまでの調査結果からして、有用な鉱物資源、たとえば石油とか金銀とか、含有率の高い金属鉱床などが発見される可能性もほとんどなかった。

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

全国消防人の火災損害補償のために!!

全員契約の B型火災共済

1年掛=2,500円の定額掛金

1単位(2,500円)で2,500,000円を補償

高額保障の C型火災共済

1口100円で10万円を補償

最高2,000万円まで加入できる

C型火災共済の場合、貸家等についても加入することができます

「美女と野獣」 大森日林

「美女と野獣」は使用しないで、接続部を必ずホースバンドで締めつけてください。使わない元栓には、ゴムキャップをつけてください。

また、ガス風扇がまや大型湯沸器は、給排気筒を正しく取り付けてください。

○ガス器具は、ガスの種類に合っていますか。プロパンガスに付いているシールの表示が合っていることを確認のうえ使用してください。

○ガスの種類によって、空気の混合量が異なりますので、ガス器具の構造も異なります。転居先の場合、その種類の器具を確認して、手持ちの器具と合っているか必ず確かめてから使いましょう。器具が供給ガスに合っていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。不明な場合は必ずガス会社に相談して、正しい器具を使いましょう。

○「1つ1つウツカリ」は危険です。点火後は、必ず火がついたかどうか確かめてください。また、煮こぼれなどによる炎の立ち消えに注意し、電話や茶室の対応に当たるときは、必ず「つたん火を消すように心掛けてください。」

○ガス漏れはありませんか。ガス漏れを防ぐには、必要以上に長いゴムホースは使用しないで、接続部を必ずホースバンドで締めつけてください。使わない元栓には、ゴムキャップをつけてください。



定額 1部 5円 23
 秋田市中通 4丁目3番地01
 行 郵便番号 01
 発行編集人 中・田・中
 印刷所 能代市大手町の8
 有限会社 北羽出版社
 電話 62-2522

昭和60年度 消防行政重点施策及び 消防庁予算要求の概要

自治省消防庁

消防庁では、このたび昭
和60年度消防行政重点施策
及び消防庁予算要求の概要
を決定した。

来年度の重点施策は住民
生活の安全を確保するため
(1)消防力の充実、(2)消防防
災通信ネットワークの強化
(3)大規模災害対策等、(4)防
火対策等の進捗、(5)消防防
の活性化と自主防災体制の
整備の5点を大きな柱とし
ており、このうち、消防防
の活性化、国際協力の積極
的推進が新規模策として盛
り込まれている。

次に来年度の消防庁予算
要求についてであるが、国
の厳しい財政事情を反映し
、政府の方針として原則
として前年度予算額から10
%を削減した金額の範囲内
において要求するものとし
た概算要求額が設定され
るという厳しい制約が課さ
れた。

殺害事件に必要な経費につ
いては、1億2千万円の増
となつてはいるがこれは、昨
年における大規模災害等を
ふまへ消防防災無線通信
設備整備に対する補助金を
増額することによりこれに
関連して、消防防災通信ネ
트워크の形成を補強する
通商衛星地上機設備の整備等
に重点を置いたことによる
ものである。

また、消防施設整備補
助に必要な経費については
1億2千万円の減となつて
いる。しかしながら、内容
的には補助対象施設である
消防防緊急応答システム及
び小動力ポンプの増強を
図るなどの配慮がなされて
おり、今後の消防の消防行
政の諸問題に対し適切な対
応の確保を図ることとして
いる。

③住民生活の安全の確保
 災害の多発化、大規模化
等に対し、住民、事業所
及び消防機関等を一体とし
た安全な地域社会づくりを
進める。

(1)消防力の充実
 消防施設の計画的、重
点的な整備を進めるとと
もに、小規模消防、特に
組入消防の整備の強化を
図る。また、消防防に
関する科学技術の研究開
発を促進する。

消防、予防及び救急、
救助業務の高度化に対し
て、これを促進する。

防職員の専門的教育訓
練の充実を図るとともに
その処遇の適切な改善を
行なう。

(2)消防防災通信ネットワ
ークの強化
 全国的な消防防災通信
網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

網の形成を図るとともに
地域住民に対する情報の
伝達体制を整備するため
消防防災無線施設等の計
画的な整備の推進並びに
通信システムの管理及び
指導体制の強化を図る。

(3)大規模災害対策等
 震災対策を総合的に推
進することにより、風水害
林野火災等の大規模災害
に備えるため、地域防災
計画の充実、避難体制の
確立、防災資機材の整備
等を図る。また、危険物
の規制の国際化、市場の

昭和60年度 消防庁関係予算概算要求主要事項別一覽表 (単位:千円)

事 項	昭和60年度 要求額(A)	昭和59年度 予算額(B)	増減額 (A-B)	率 B/A×100	備考
□ 主要事項 □					
1 大震火災対策施設等整備に必要な経費	3,954,685	3,843,489	▲ 111,206	103	
(1) 大震火災対策施設等整備費補助金	3,861,805	3,761,805	▲ 100,000	103	
(2) 大震火災対策施設等整備費	1,458,805	1,499,805	▲ 40,000	97	
一般分	856,937	859,775	▲ 2,838	100	
地震防災対策強化地域分	602,868	640,030	▲ 37,162	94	
(3) 消防防災無線通信施設整備費	1,902,000	1,682,000	▲ 220,000	113	
都道府県分	466,000	412,000	▲ 54,000	113	
市町村分	1,436,000	1,270,000	▲ 166,000	113	
(4) コミュニティ防災センター整備費	500,000	580,000	▲ 80,000	86	
コミュニティ分	400,000	480,000	▲ 80,000	83	
広域分	100,000	100,000	0	100	
(5) 通信衛星地上機設備整備費等	92,890	81,684	▲ 11,206	114	
2 消防施設等整備費補助金	12,751,955	12,871,955	▲ 120,000	99	
(1) 消防施設等整備費補助金	12,391,921	12,512,679	▲ 120,758	99	
(2) 特殊災害用消防施設等整備費補助金	360,034	359,276	▲ 758	100	
(3) 石油コンビナート等分	80,173	86,801	▲ 6,628	92	
(4) 林野分	279,861	272,475	▲ 7,386	103	
(小計)	16,706,650	16,715,444	▲ 8,794	100	
□ その他の経費 □	1,793,892	1,856,404	▲ 62,512	97	
合 計	18,500,542	18,571,848	▲ 71,306	100	

全国統一語
あとで
よ
いまが
大切
火の始末

昭和59年 秋の生者者叙勲

長年の功勞、いま実る

政府は、昭和59年秋の叙
勲受章者を決定し、11月3
日の文告の日(11月8日)
に発表された。

叙勲伝達式は11月8日午
後12時30分から東京都港区
虎ノ門「日消ホール」にお
いて行われ、

晴れの叙勲に輝いた本県
消防関係者は、次の方々で
ある。

◎勲五等双光旭日章
 元角館町消防団分団長
 元日本消防協会代議員
 佐々木賢一 73

◎勲六等単光旭日章
 現沼田町消防団副団長
 工藤 実吉 68
 元雄勝町消防団副団長
 齊藤三治郎 62
 元内町消防団副団長
 千原 好夫 63
 元大曲市消防団分団長
 三浦 嘉助 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

元五城目町消防団分団長
 大石忠代次 62
 元男里市消防団副団長
 泉田 宗市 65
 元大曲市消防団分団長
 齊藤 幸治 62
 元秋田市消防団副団長
 佐々木四郎 65
 元十文字町消防団分団長
 佐藤 久治 66
 元本庄市消防団分団長
 田中 吉治 64
 現秋田町消防団分団長
 谷藤 金一 69
 元角館町消防団副分団長
 中村 清蔵 66
 元雄勝町消防団分団長
 沼倉 啓一 66
 元山内村消防団分団長
 藤原 由松 67
 元田沢町消防団分団長
 堀川 久夫 60
 元奥角市消防団分団長
 湯沢 清三 64

社会貢献者を表彰
 日本顕彰会
 財団法人日本顕彰会
 は、世のため人のため、社
 会を明るくする善行や業績
 のある団体と個人を表彰す
 る昭和59年度の社会貢献者
 の表彰式を11月6日(日)出
 発の秋田県庁大講堂におい
 て、厳格に、同日夜下
 のご臨席のもとに盛大に挙
 行した。

晴れの表彰となった本県
 消防関係者は次のとおり。
 ◎大町消防団副団長
 三浦 賢一

一月の広報事項
 ○文化財を火災から守ろう
 1月26日は「文化財防
 火デー」である。かたが
 えのない文化財を火災か
 ら守るために関係者の意
 識の高揚を図る。

○消防計画に基づく避難訓
 練を必ず実行しよう
 避難訓練は、必ずしも
 以上の建物では避難訓
 練を行なうことが義務付
 けられている。

実際に火災が発生した
 とき、ふだんから避難訓
 練を行なっていた場合と
 行なっていない場合と
 では、その人の行動に
 大きな差がでるといわれ
 ている。

そこで、これらの施設
 の関係者に対して消防計
 画に基づく避難訓練の表
 施を呼びかける。

ることとなる。

2 実際の注水は行なわ
 ないこととする。

3 小型ポンプ操法は、右
 側開口のものに統一され
 ることとする。

4 その他、練達実施要綱
 (細部要綱)について全
 国大会要領と統一され
 た。

5 従来の「秋田県消防
 法大会要領」昭和五十六
 年作成を廃止する。

全県消防訓練大会訓練 要領の改定について

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

去る七月二十五日、鹿角
 市で開催された全県消防大
 会における要領等もあり、
 この度全県消防訓練大会の
 訓練要領について全面的に
 これを改定し、六十年度の
 全県大会からこれを適用す
 ることとした。これにより
 従来の実施要領も全県大会

消防団員「消防互助年金」ご加入のおすすめ

この制度は、消防団員の協同互助の精神に基づき、
 日本消防協会が実施するものです。
 皆様の豊かな老後と安定した幸福な生活を築くために、
 積極的なご加入をおすすめします。

消防互助年金(特例措置)の特長

- 満55歳以上の方のための特例措置もあります。
- 退団後も継続加入できます。
- 掛金は年齢により一括払と半年払の併用と一括払の単独にわかれます。
- 年金は3%複利で毎年通増します。さらに、5年毎に給付の見直しを行って、将来のインフレに備えます。
- 死亡、重度障害、解約の場合も、一時金が支払われます。

日本消防協会 秋田県消防協会

年頭にあたり

秋田県消防協会
会長 中田 初雄



昭和六十年の新春を迎え、全県消防協会の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
同時に郷土愛護の精神に徹し、県民の生命財産を災害から守るため、日夜奮身の努力を払われていた消防の皆さまに心から感謝と敬意を表する次第であります。

年頭のあいさつ

消防大学校長
井下 登喜男



昭和六十年を迎えるにあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
消防関係の皆様には、火災や震災等の災害から住民を救済するための昼夜をわかれず、献身的に努力しておられますことに、心から敬意を表する次第であります。
今日の消防の業務は、消防活動を中心とする警防活動はもとより、予防・救急・救助活動・自然災害における防災活動等々をわけて、幅広くにわたっており、国民生活の安全に深くかかわりをもっております。
昨年は、長野県西部地震、熊本県五木村集落崩壊に

使命達成のため、一層の努力を払い、消防力の充実、団員の処遇改善などについて取り組んで参る所存であります。
とりわけ皆さまにおかれましては、消防に課せられた重責を再認識されまして、消防防災活動に一層の尽力を賜りますようお願いいたします。

年頭のごあいさつ

秋田県水防連合会長
大野 忠右エ門



あけましておめでとうございませう。謹んで県民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
幸いにして昨年は、特段大きな災害もなく、比較的平穏な一年でありました。これは皆様の積極的御協力の賜の賜と心から感謝申し上げます。
また、災害予測が不可能な今日においては、災害に對し、不測の訓練と旺盛な精神力の養成が必要不可欠であります。このことからして本年実施が予定されております水防練習には積極的な参加をお願いする次第であります。
最後に皆様の御健勝と御健康を祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

秋田県警察本部長
榎野 敏雄



あけましておめでとうございませう。全県消防関係の皆様から、新年のご挨拶をお慶び申し上げます。
また、皆様の平素のご活躍とご苦労に、心から感謝申し上げます。
近年、中高層建築物、危険物施設等の増加に伴い、大規模火災や特殊災害の危険性が增大しており、いわゆる都市型火災への備えも、また重要なことと思えます。
皆様には、こうした重責を認識され、消防力の充実に努め、各種訓練等、消防

新年のあいさつ

秋田県消防防災課長
菅原 道美



輝かしい昭和三十年の新春を迎え、全県消防関係者の皆様へ新年のお慶びを申し上げます。
年頭にあたり、皆様は平素から県民生活の安全確保のため昼夜をわかれず、献身的な努力をされておられることに対して、心から敬意を表する次第であります。

消防の新春

伊藤 杯紅

秋田県における昨年の災害概況をみますと、火災の発生が約五八〇件、焼損額約二十億円で、昨年よりそれぞれ大巾な減少を示しました。しかし、失われた尊い人命は三十二人で、昭和五十七年につぐ悪記録となり痛恨の極でありました。また、自然災害ですが、豪雪、暴風雨等々、大規模な災害が、被害額が百九十億程度、故郷を失った被災者が、数に数えきれないのが現状であります。
一方近世代における都市化の進展に伴う都市構造・建築構造等の変化、防火対象物施設・危険物の増加等により、火災その他の災害の発生要因は著しく増加し、また、複雑多様化して、大規模災害発生時の危険性は飛躍的に増大しつつあります。
従いまして、こうした災害に對する消防関係の任務は一段と重要性を増してきており、皆様には、市民の期待もまた大きいものがあると思っております。
○初日の出竹の重賞金成
○鹿代地区消防長

消防設備はソフト (保守点検) が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)

火災報知設備・消防ポンプ・消火器

総合防災設備設計、施工

総代理店
消防設備士
消防機器A級店
秋田県 入札資格

株式会社 **高義商会**

〒012-01 本社 秋田県稲川町 T (0183) ☎2125・2126
〒012 湯沢市町田 T (0183) ☎2588・2932
〒019-05 十文字町本町 T (0182) ☎0032

高義グループ店 秋田市、大館市、天王町、鹿角市

営業品目
防災施設
避難器具
消火機
機械修理

年頭のことば

陸上自衛隊第二十一普通科連隊長
兼秋田駐屯地司令
一等陸佐 千葉 瑞 圓



昭和二十年の新嘗を迎え、秋田県消防関係者の皆様は新年のお慶びを申し上げます。国民の生命、身体及び財産を各種の災害から護ると

年頭のごあいさつ

秋田県消防協会副会長
(秋田市消防団長)
辻 兵 吉



昭和六十年の新嘗を迎えるにあたり、全県消防関係者の皆様は新年のお慶びを申し上げます。本県の消防も関係各位の並々な努力によりまして、着々充実強化され防

者の皆様と共に県民の皆様、家族とともに御健康を祈念し年頭の御挨拶といたし

年頭に於たつて

秋田県消防協会副会長
(横手市消防団長)
田 畑 栄 太 郎



昭和二十年の雄かしい新嘗を迎え、秋田県消防関係者の皆様は、新年の

このように、社会情勢の変化に対応して住民の求めを消防行政を進めていくためには、広報、公衆活動を積極

年頭に於たつて

秋田県消防長会
会長 近 藤 政 義



全県消防関係者の皆様は、新年の御慶びを申し上げます。昭和二十年の雄かしい新嘗を迎え、秋田県消防関係者の皆様は、新年の御慶びを申し上げます。

新年のあいさつ

秋田県消防学校校長
宮 嶋 長 一 郎



新年おめでとうございます。謹んで、県消防関係者の皆様にお慶び申し上げます。

七百四十件で、火災による死者千八百二十八人となり、これは全国の二つに八分四十八秒に一件の割合で火災が発生し、毎百五人が死亡していることになり

11月の火災発生件数(全県)

項目	11月	前年同月	前年同月比	前年同月比
火災発生件数	44	403	-92	-21
死者	2	32	+8	-46
被害者	5	32	+8	-46
建物	44	148	-92	-21
その他	5	32	+8	-46
計	49	180	-131	-71

七十年代に向けて楽しむ者などの愉快を増やしていることあり、予断され難いところから出火や瞬時に火面に拡大するもの等対応に苦慮していることになり

編集後記

明けましておめでとうございます。昭和二十年の初春、消防関係者の皆さまよりお慶びを申し上げます。

中田建設株式会社

取締役社長 中 田 喜 潤
専務取締役 中 田

本社 秋田県能代市万町4の2 TEL (0185) 54-3911代表
出張所 秋田市山王五丁目9の2 TEL (0188) 64-3211代表
東京、仙台、岩手

寺田染工場

手拭、団扇、タオル

▼甲込又は三馬又は秋田県消防協会へ

手 0182 電 話 04一六

秋田へお越しの節のお泊りにぜひご利用を

ホテルあきた

秋田市中通4丁目3の23 (秋田消防会館内) 電話32局4111

- 一般のお客様
 - 1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 3,000
 - 2人室(バス、トイレ付) ¥ 5,800
- 会員の方
 - 1人室(洗面所、トイレ付) ¥ 2,700
 - 2人室(バス、トイレ付) ¥ 5,200



定価 1部 5円 23の
秋田市中通4丁目3番01号
発行 秋田県消防団01号
発行編集 秋田県消防団01号
印刷所 有限会社 能代市大手町7番の8
電話 0185-2622

消防団の活性化

対策について

自治省消防庁

消防庁では、12月1日消防団の活性化対策について検討を行うため、消防団活性化対策検討委員会を設けた。

委員会は、消防庁長官が消防関係者、学識経験者等のなかから委嘱した13名の委員により構成され、消防団の現状及び地域の特性を踏まえ、魅力ある消防団のあり方、消防団の増強対策等消防団の活性化対策を調査検討する予定である。

委員会は、本年度は消防団の現状を踏まえ、消防団の組織、運営、活動上の問題点を整理し、その検討を行うこととし、来年度において消防団活性化の具体的な方策を検討する。

消防団の活性化対策を検討するためには、地域の事情や特性を十分把握する必要があるとされ、地域の特性を踏まえ、消防団の活性化方策について意見を聴取するための調査を実施することとなった。それを受けて、12月中旬に「消防団実態等調査」、「消防団員アンケート調査」を実施した。さらに、近く、全国の消防団のなかから他の参考となる団運営や活動を行っている消防団への協力依頼や、ユニークな団運営や活動を行っている消防団の事例を収集して全国に紹介するための「モデル消防団事例調査」を実施することとしている。

委員会では、今後、消防団に対する地域住民の理解

新春に輝く

消防功労者表彰

- 秋田県 秋田県消防協会
では、永年わたり職務に精励し、消防使命達成に尽くされた市町村消防団員、団員に対し、恒例により一月一日の佳き日に表彰し、受賞者は次のとおり。
- 秋田県知事表彰
○有功章
八郎町消防団 副団長 吉田 由美 外 二九一名
○永年勤続功労章
八森町消防団 団長 北宮 四郎
- 三十五年勤続章
稲川町消防団 団長 井上 平吉 外 一五六名
○三十年勤続章
大森町消防団 副団長 菊地 定男 外 三三九名
○二十五年勤続章
大館市消防団 分団長 小坂 正倫 外 一四二名
○二十年勤続章
高海町消防団 分団長 村上 重雄 外 四〇七名
- 功労章
能代市 小仲幸之助 外二個人、二〇〇団体
○優良少年消防クラブ
合川町青年団子供会 外 九名
○秋田県消防協会長表彰
○功労章
二ツ井町消防団 分団長 安井勘一郎 外 一三九名
○勤続章
大森町消防団 団長 荒間 巖 外 八〇六名
○功労章
湯沢市消防団 副団長 渡部 孝一 外 一〇二名

統一語

あとで より
いまが 大切
火の始末

防災の誓い新たに

市町村消防出初式

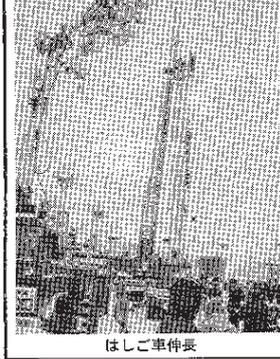
新春恒例の市町村消防出初式が、一月五日秋田市本荘市、比内町、東成瀬村など県内二二市町で行われた。

寒の入りとなったこの日の県内は、冬の季節風が強まり、小雪まじりの冷たい北風の吹きつけるなかの出初式となったが、制服に身を固めた消防団員が無火災と風水害などの災害防止を祈願し、力強く今年年の防災への誓いを新たにした。

秋田市では、午前十時打ち上げ花火を合図に市消防本部前で約千人の市民の見守る中、消防職、団員九百九名が整列、はしご車、高所放水車、化学車、救助工作車、消防ポンプ車など二十



秋田市長の観閲



はしご車仲長

三月の広報事項

○少年消防クラブの活動を理解し参加しよう
少年消防クラブの役割と活動状況を紹介します。参加を呼びかけます。

○消防に対する理解と認識を深めよう
3月7日は「消防記念日」である。これを記念して消防の皆さん、現況等を紹介します。国民の消防に対する理解と認識を深めてもらうこととしたい。国民一人ひとりが防災の第一手であるという自覚を呼びかけます。

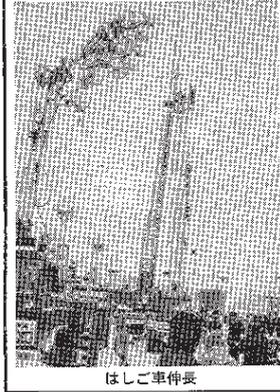
○自治消防隊を充実させ防火管理を徹底しよう
事業所等における自治消防隊の設置を促進することとしたい。職場等における防火管理についての知識を普及し、その徹底を呼びかける。

○一九九番への通報は落ちついて正確に伝えよう
一九九番への通報の際場所や状況を正しく言えないことが多く、このため、被害が大きくなったり、現場でトラブルが発生したりする例もある。そこで、一九九番への通報は、落ちついて、必要事項を正確に伝えるよう呼びかける。

消防人事異動

○山内村消防団
二月一日付
団長 太田 幸一
依羅連 副団長 沼井清一郎
消防団長へ

○山内村消防団
二月一日付
団長 太田 幸一
依羅連 副団長 沼井清一郎
消防団長へ



はしご車仲長

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50) 4370号
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト (保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

森田 ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種 消火器 ガス水道工事一般
簡易自動消火装置ユーホ ¥25,000

株式会社 協立

能代市栄町12の3 〒016
TEL (0185)(52)-6361代表

全国消防人の火災損害補償のために!!

全員契約の B型火災共済

1年掛=2,500円の定額掛金
1単位(3,500円)で2,500,000円補償

高額保障の C型火災共済

1口100円で10万円を補償
最高2,000万円まで加入できる

火災共済の場合、保険料についてお話しすることがあります

昭和59年度 防火ポスター 入選作品決定

入選作品決定

県と消防協会が主催で全県小・中学校児童生徒から募集していた防火ポスターの応募作品は、小学校35校から1,108点、中学校2校から210点に達した。これについて17日消防協会会議室において審査会を開催し、慎重に審査を行った結果、次のとおり入選者が決定した。

なお、審査にあつた県教育庁義務教育課指導主任佐々木信吾先生の審査批評は次のとおりであった。

【全体の評】

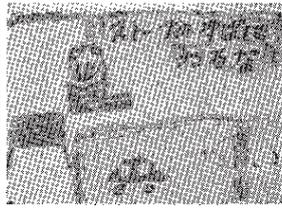
伝統ある防火ポスターの募集は、回を重ねるごとに質・量ともに充実をみせている。特に今回は、全県56校の小・中学校から1,300点の応募があり、今までの最高記録するなど、四人の審査員も、大いに苦勞を十分に分かるようにおこ

した点である。このことは、県内の小・中学生の防火意識が高まってきている証拠である。県民の防火思想の普及向上を願ひながら、共に喜びたい。

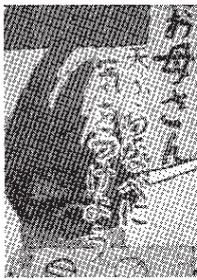
内容も、中学生は全地球的あるいは歴史的に、小学生は身近な生活を通して鋭くとらえている。具体的には、父親のたばこや子供の火遊びの恐ろしさ、灯油ストーブやガス・電気器具の取り扱いなど、日常生活の中でのテーマをとらえて訴えている。

次に、「防火ポスター」を掲ぐときのポイントを押さえてみるので、今後の参考にして下さい。

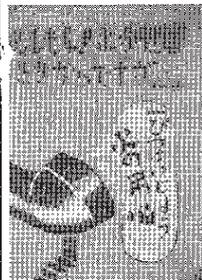
①テーマを明確に表そう
「何をどのよに表現するのか」……まず、テーマをはっきりとつかみ、訴えたいこと、表わしたい内容を十分に伝わるようにおこ



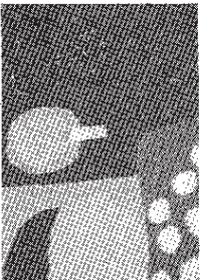
二席 ささき まこと (湯沢東小二年)



一席 久米 みどり (大曲小四年)



三席 松嶋 信 幸 (石小五年)



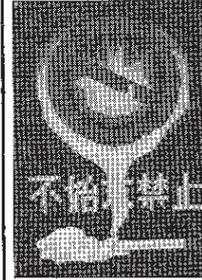
三席 はれやまゆうき (花輪小一年)



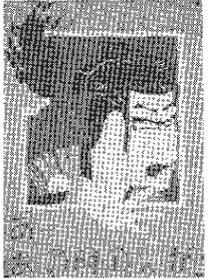
一席 大河 行 (仙北中三年)



二席 小西 彩 (花輪小二年)



三席 佐藤 美和子 (大曲中二年)



三席 佐々木 徹 (仙北中二年)

入賞作品の評

輸小一年

低学年ではクレヨン、タペスタなどを中心に使用するようになってきている。力をもつて誠実にクレヨン、タペスタを塗りこんでいる。小さな手でも何時の間にか浮かして、宇宙から地球へ警告している。青い美しい地球の運命は火の取り扱ひの如何にかかっている。スケールの大きいユニークな発想がよい。色・形など周囲処理もみごとである。

二席

灰皿(空飛ぶ円盤)を空間に浮かべて、宇宙から地球へ警告している。青い美しい地球の運命は火の取り扱ひの如何にかかっている。スケールの大きいユニークな発想がよい。色・形など周囲処理もみごとである。

三席

浮世絵のデザイン、色調、呼びかけのことは「あつ・あつ」の時の火が、良くまとまり、印象的なポスターにしている。

黒地に白・青・黄・赤

色で、きりぎりまで整理した形、構図にまとめてよい。よく目立ち、強く訴える力は抜群である。

二席

土井加奈子(仙北中三年) 落合正太郎(横手西中一年) 児玉正太(八幡中二年)

三席

佐藤美和子(大曲中二年) 佐々木徹(仙北中二年)

消防防災課からのお知らせ

県防災会議審査会が先般県庁で開かれ、今冬の雪害対策が話し合われた。この中で、今年には雪下ろしを、地区あるいは市町村単位で「除雪デー」を定め、一斉に行う方式を普及させることになった。

また、要援護世帯に対するポテンチアによる援助体制の確立も決めた。

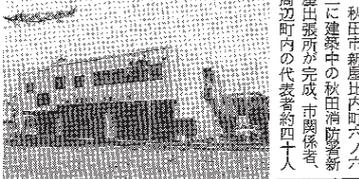
なお、今冬の雪害による被害は1月27日現在で人的被害死者2人、重傷10人、軽傷16人、建物被害で住家を中心に被害額が1,148万円に達している。また、雪害対策本部を設

12月の火災発生件数(全県)

月	建物	その他	死者	火災被害
12月	31	8	1	21
計	437	158	33	369
前年比較	-24	-92	+8	-44

秋田消防署新屋出張所

地域住民にも開放



秋田市新屋比内町六ノ六に建設中の秋田消防署新屋出張所が完成。市消防署員らによる代表者約40人、四・三八五平方メートル、鉄骨一階建て、一階に事務室、機械室、消防車四台収納できる庫庫、二階には警員の仮眠室などのほか会議室があり、地域住民にも利用してもらおうとになっている。

新庁舎には二台の消防車、救急車一台が配備され、二十六人の警員が二十四時間体制で地域防災にあた

ルナティック・ロマン (8)

東 冬彦

続いてすぐ三ヵ月後の七月、19号が打ち上げられた。月の裏側に降りる際には、大気のない月では地球を取り巻くような電磁圏が存在せず、アポロと地球との通信が不能となる。ヒーストンの人間宇宙船センターに置かれた大型コンピュータのバックアップなしには、アポロは身動きがとれなくなるのだ。

そこで予め、交信用の補助探照星を月軌道に乗せておく。地球との交信用探照星はパレールボールより少し大きめで、三個同時に使用される。19号では18号のとき使った三個をそのまま利用したほか、更に一個をあたりに降ろした。しかし、脱出のとき、月面を飛び越して落ちてしまった。しかし、脱出のとき、月面を飛び越して落ちてしまった。しかし、脱出のとき、月面を飛び越して落ちてしまった。

置いている市町村は8町村(雄勝町、雄物川町、平鹿町、大雄村)である。

岩の分析とマスコットの有無の確認とによって、月の裏側半分は密度が表側よりも軽いと主張する。ワ・ハリスン教授の仮説を明瞭に手掛かりが得られる。19号ではまだ、18号の月着陸船の探照星位置の任務も併せてこなす。18号と同じ場所に降りた。月の赤道下にメンデレーフ・クレターがあるが、そこがガリリン・ツイオルコフスキと命名されている二つのクレターの間、つまり、三個のクレターで囲まれた真ん中のあたりに降ろした。しかし、脱出のとき、月面を飛び越して落ちてしまった。しかし、脱出のとき、月面を飛び越して落ちてしまった。

アポロ19号は一九七三年八月月上旬、月の裏側の岩石五十五キログラムを採取して、無事に帰還した。そして、大変な物資を地球上に持ち込んだ。データ



定価 1部 5円 23の23
秋田市中通4丁目3の23
秋田消防協会 010
発行所 秋田郵便番号
郵便番号 010
発行編集人 中野 初雄
印刷所 大田印刷社
印刷部 大田印刷社
有限会社 大田印刷社
電話 522622

昭和59年度

消防功労者表彰式

3月14日県正庁で

秋田県 秋田県消防協会
では、昭和59年度消防功労
者表彰式を3月14日午前11
時から県正庁において来
賓、受賞者など多数列し
厳粛に行われた。
この表彰式は、歴代消防
団、年間無火災町村の知事
表彰を始め、去る2月8日
東京都港区虎ノ門、日本消
防会館ニッショーホールに
おいて授与された日消防防
協会長表彰、同3月6日授
与された消防庁長表彰など
との伝達を同時に挙行され
た。
受賞者は次のとおり。
状が贈呈された。

秋田県知事表彰

- ◎表彰旗
小坂町消防団
◎功績賞(2回)
大田町消防団
◎無火災町村(7町村)
仙南村(通算7回目)

日本消防協会会長表彰

- ◎表彰旗
西仙北町消防団
◎功績賞(3回)
山本町消防団
由利町消防団
雄勝町消防団

- ◎特別功労者
秋田県消防協会会長 中田 初雄
- ◎功績賞(24名)
鹿角町消防団 分団長 賀川 良吉
大館市消防団 分団長 渡辺 秀綱
比内町消防団 分団長 渡辺昭一郎
八重町消防団 分団長 及位 専八
能代市消防団 分団長 大高 久雄
大館市消防団 分団長 荒間 敏
湖東地区消防本部 消防司令長菅原 光之
秋田市消防団 分団長 栗田 武蔵
- ◎功績賞(52名)
大田町消防団 分団長 佐藤 金吉
本在地区消防本部 分団長 田口 欽哉
仁智保地区消防団 分団長 安哲吉之助
大内町消防団 分団長 太田 勝春
西木村消防団 分団長 佐藤 一夫
中仙町消防団 分団長 伊藤 耕樹
協和町消防団 分団長 渡辺松石工門
大雄村消防団 分団長 佐々木 博
横手市消防団 分団長 藤田新三郎
十文字町消防団 分団長 柿崎 忠夫
湯沢市消防団 分団長 伊藤 一男
上小阿仁村消防団 分団長 伊藤 一男
- ◎功績賞(52名)
大田町消防団 分団長 佐藤 金吉
本在地区消防本部 分団長 田口 欽哉
仁智保地区消防団 分団長 安哲吉之助
大内町消防団 分団長 太田 勝春
西木村消防団 分団長 佐藤 一夫
中仙町消防団 分団長 伊藤 耕樹
協和町消防団 分団長 渡辺松石工門
大雄村消防団 分団長 佐々木 博
横手市消防団 分団長 藤田新三郎
十文字町消防団 分団長 柿崎 忠夫
湯沢市消防団 分団長 伊藤 一男
上小阿仁村消防団 分団長 伊藤 一男
- ◎功績賞(52名)
大田町消防団 分団長 佐藤 金吉
本在地区消防本部 分団長 田口 欽哉
仁智保地区消防団 分団長 安哲吉之助
大内町消防団 分団長 太田 勝春
西木村消防団 分団長 佐藤 一夫
中仙町消防団 分団長 伊藤 耕樹
協和町消防団 分団長 渡辺松石工門
大雄村消防団 分団長 佐々木 博
横手市消防団 分団長 藤田新三郎
十文字町消防団 分団長 柿崎 忠夫
湯沢市消防団 分団長 伊藤 一男
上小阿仁村消防団 分団長 伊藤 一男
- ◎功績賞(52名)
大田町消防団 分団長 佐藤 金吉
本在地区消防本部 分団長 田口 欽哉
仁智保地区消防団 分団長 安哲吉之助
大内町消防団 分団長 太田 勝春
西木村消防団 分団長 佐藤 一夫
中仙町消防団 分団長 伊藤 耕樹
協和町消防団 分団長 渡辺松石工門
大雄村消防団 分団長 佐々木 博
横手市消防団 分団長 藤田新三郎
十文字町消防団 分団長 柿崎 忠夫
湯沢市消防団 分団長 伊藤 一男
上小阿仁村消防団 分団長 伊藤 一男

統一語
あとで
いまが
火の始末

消防庁長官表彰

- ◎表彰旗
河辺町消防団
◎功績賞(2回)
八森町消防団
田沢町消防団
◎功績賞(2名)
大田町消防団

全国消防人の火災損害補償のために!!

全員契約の B型火災共済

1年掛=2,500円の定額掛金
1単位(2,500円)で2,500,000円を補償

高額保障の C型火災共済

1口100円で10万円を補償
最高2,000万円まで加入できる

C型火災共済の場合、貸家等についても加入することができます

四月の広報事項

○春の行楽期における火災の被害を防止し、春は行楽等出かける機会が多くなるので、宿泊施設を利用する際の心得(一通り)の確認を、をすすめて、旅館、ホテル等の経営者に対して防火管理について万全を期すよう呼びかける。

○林野火災を防ぐ。
特に3月、4月、5月は、時期なので、入山者、林業関係者及び林野周辺の住民に林野火災の危険を周知させるとともに、その予防を呼びかける。

○自主防災組織に参加し、地域、風水害の災害から身を守るためには、

○西木村消防団
副団長 簡崎 明男
消防団長 上藤 雅司
依願退職

- 大曲市消防団 分団長 富樫 幸亮
副分団長 船木 徳三郎
五城町消防団 分団長 伊藤 新一郎
分団長 工藤 鐵雄
昭和町消防団 分団長 菅原 哲郎
飯田川町消防団 分団長 菊地 實
八幡町消防団 分団長 小林 映一
六郷町消防団 分団長 草野 豊
六郷町消防団 副分団長 斎藤 隆二
中仙町消防団 分団長 皇本 祐二郎
田沢町消防団 分団長 皇本 祐二郎
分団長 鈴木 良一
協和町消防団 分団長 進藤 久雄
大田町消防団 分団長 小松 四郎
仙北町消防団 分団長 星宮 善男
南外村消防団 分団長 高橋 富士郎
西木村消防団 分団長 櫻田 重兵衛
千畑町消防団 分団長 嶋田 豊治
仙南町消防団 分団長 照井 隆之助
横手市消防団 分団長 高橋 忠治
分団長 佐々木 貞一
- 湯田町消防団 副分団長 眞木 二郎
副分団長 本郷 功
神岡町消防団 分団長 藤井 新藏
西仙北町消防団 分団長 加藤 敏雄
分団長 加藤 政一
角館町消防団 分団長 小林 映一
分団長 草野 豊
山内村消防団 分団長 永沢 祐三
湯沢市消防団 副分団長 高橋 太郎
副分団長 片野 孝吉
- 福川町消防団 分団長 岩井 幸治
雄勝町消防団 分団長 菅野 松雄
羽後町消防団 分団長 渡辺 吉右衛門
分団長 村上 義助
東成郷村消防団 分団長 小田 原信一
雄物川町消防団 副分団長 児玉 珠之助
仁智保地区消防団 分団長 伊藤 晃

